

「先輩

あー……先輩、先輩、先輩、先輩、私です、先輩、私です。

先輩、好き、好き、好き、先輩、ああ先輩、好きです、好き。

どうしたらこの想いを、想いを、想いをツ、私のこの、どろどろ、

ぐちゅぐちゅ、ぬるぬる、スーパードライパーウルトラ大好きハートを、

先輩に伝えられるのでしょうか。私が先輩を、好きになるのは、もうこれは、

世の理とも言うべきこと。常識であり、秩序であり、当然必然歴然の事実。

ああ分かった分かった分かりましたハイハイ分かりましたよQ&A。

先輩のママになればいい。私がね、先輩を、産めばいい(?)

私が先輩を孕めばそれは、つまり、つまり、先輩は私の子、私のバブウ。

なんてこと……こんな簡単なことに気がつかなかった……この私が、私が?

どうした私、お腹が痛いのか? 眠いのか? ああ先輩、憧れの先輩に、

体調不良の状態でお話するなんて、無礼極まりない、クソの中のクソです。

でもでもでもでも溢れる気持ちは抑えられない。だって恋する乙女だもん。

恋占いでお花畑を枯らしてしまうようなお年頃なの。仕方ないじゃない。

そうね、きつとそう、だから今すぐお話するの。がんばれ、しもべ優♪

よし、さつそく出産交渉をしなければ。フフフ。私、幸せ。

先輩を産めるなんて幸せ。幸福の極み。おてての皺と皺を、あわせてしあ……、

……先輩? 何か? どうしました?(?)

ちようどよかった、今からですね、

先輩を産もうかと思って、……へ、聴いてました? 全部? ……きゃあッ、

ハズカシッ、ハズカシッ。なんという失態でしょうッ。

そうだ、私ったら……先輩と一緒に書類整理をしてる真っ最中でした。

すみません、すみませんッ。上の空の青天井だったもので、あはははは。

え、あ、もう終わりましたよ。先輩のお仕事のお手伝いなんてそんな、

二秒あれば済みます。そのうち一秒で終わらせてやりますよ。

それよりもです、私の独り言を聞いてくださっていたのならば話が早い。

先輩、先輩ッ! 産ませてください。私に、あなたを、

産ませてくださいぜひ。ゼッヒヒヒ……♪ はーッ、はーッ……♪

産ませて、産ませて、認知させてください。先輩は私の子です。いい子いい子。

養育費なら任せてください。お父様がきつと出してくださいますから。だから、

ほら、キテ。今から私の中に入って、そのあと出します。反芻です反芻。

やったことないけどきつと出来ます。だって先輩、世の中に100%はないんです。

私、先輩に関しては不可能はないって思います。私の技術で足りない分は、

財力でなんとかしますから、ご心配無用ですよ。ああもう我慢できない、

産ませて、産ませてえ、先輩にミルクあげなきゃ、あげなきゃ死んじゃうの、

信じればミルクだって出ます、

出るか出ないかなんて、やってみないと分かんないでしょう? ね?

……なんですか、なんなんですか、その冷ややかな視線は、私への試練ですか。

めげませんよ、先輩に冷たくされようが無視されようが、

私の先輩は先輩なんですから、変わらないものですから、天地が震えても、

それは揺るぎませんから。先輩、先輩、先輩、先輩、先輩。

はーッ……はーッ……えへ、えへひひひ、やばいやばいやばいやばい、近い、

先輩に近い、先輩の空気だ、すーううう、はーああああ、アアアアッ、

。オッ、お♪、ぎもちいッ♪ 先輩の空気ぎもちいッ♪ 死ぬッ♪

幸せで死ぬッ♪ ……ぐ、ふッ、……はあッ、はあッ、耐えろ、耐えるのよ私。

先輩に近づいただけでこれじゃ、この先思いやられるッ。

出産となればもう、きつと四回くらい輪廻転生してしまうッ……。

それでは先輩をお待たせしてしまうことに。

……くそッ、くそッ、なんて不甲斐無いッ、

なんて情けないんだ、私はッ。待つててください先輩ッ、私ッ、私ッ、

もっと強くなりますッ。先輩の放つ圧倒的な先輩風に負けませんッ。

そしてこれは己との闘いでもあります。

明日には先輩を産める身体になりますから。一日だけ待つていてくださいッ。

精神統一、瞑想ッ! をッ、今から家に帰ってやりますのでッ。

本日は失礼しますッ。ごきげんよう!

～ああ先輩

あら生徒会長、ごきげんよう。

ええ、書類整理は昨日のうちに終わらせましたわ。

担当であるはずの先輩があまりに鈍重な作業をしてらしたので、仕方なく。

ウフフ。まあまあ会長、先輩も先輩なりに頑張っただけじゃないわ。

はい♪ あとは私にお任せしてくださいませ。

……あら？ 会長どちらへ？

ああ、海老名先生からお呼び出しですか……ふふ、心中お察しいたしますわ。

いつてらっしゃいませ。ご武運を……。

……ああああああ先輩先輩先輩先輩ごめんなさいッああッ、

許して許して許してください私を許してッ、会長の前では私ッ、ああするしかッ

ああしないと私ッ、だって、このしもべ優がッ、

先輩とのアハンウフンがアーダコーダという噂が流れてしまったら、先輩ッ、

私のファンクラブの皆さまから袋叩きに遭ってしまうんですからッ！

そうですファンクラブありますから私ッ、二万人くらいいますからッ。

いけませんそんなこと、そんな、汚い手で先輩に触れようものなら私、

その不届き者を血祭りにあげてしまいますッ。

わが校は、巖の如く厳粛に、しかし麗しく秩序正しく、

一切の乱れもない風紀のもと成り立つ、さながら森林の清流。

そのような尊い勉学において、流血騒ぎなど……炎上してしまいます！

お父様にもご迷惑をかけてしまうッ。ダメッ、そんなのダメエッ。

ふーッ、ふーッ、すみません、興奮してしまつて。

こほん。……人前では、ああいう態度をとらざるを得ない以上……、

二人切りの時は、うんと甘えていただいてよろしいんですよ？

ちよろちよろ、ミルクの時間じゃありませんか？

おっぱい、ほちいほちいじゃありませんか？ ばあぶう♪

ほら先輩、私、こうして無難に、先輩に近づく術を手に入れました。

と言いつつも、実はさっきから軽く絶頂を繰り返してるのですけど、

表情に出てないので大丈夫です。問題ございません。

確認しますか？ 私の言葉に嘘偽りのない純水100%であること、

目視していただいけませんか？ ほら、ほら、見てください。私のッ。

う、あッあ、み、見られて、いる、先輩がッ、私の、こんなはしたない、

スカートをたくし上げて下着を晒すさまをッ、今日は先輩のためにッ、

スケベでハレンチえっちちなTバックッ！ 情熱の赤いTバックをッ、

履いてきたのですッ。見てッ、見てッ、湿ったところ見てッいや全部見てッ。

ああッ先輩がッ先輩がッ！ イっちゃったおまんこ、

ぬるぬる愛液びっしょびしょのおまんこをッ、見ているッ、見ているッ！

おほッ、ああ、デカいのが、やべー波がキチャウッ、キチャウッ、あッ、

イグッ、イグッ、先輩ッ見ててツイクとこ見ててッ、おッお、おッ♪

おホオおーッッッ！

ああ、あ、イって、しまった、先輩の前で、絶頂を宣言したのち、

有言実行してしまったのだ。私は、痴女だ。痴女です。はしたない、

ああ先輩、そんな、退かないでくださいまし。先輩のイヤらしい目で、

視線だけでイってしまった私を、もっと、見てくださいッ。私を、

なんだろうもう、視線で食べてください。余すところなく、見てください。

先輩のシャッターアイで、

しもべ優の痴態を脳内フォルダに永久保存してください。

ハッ。こんなことしてる場合じゃなかった。

先輩、産ませてくださいッ。今日こそ産ませていただきます。

私の新品おまんまんから、先輩をッお、おッ……産むッ、あ、ッダメッ、

イグッ、まだイグッ、ああッ、いつぎッいいッいいッいいッ！

ああ先輩、先輩、私、もう我慢できません。脱ぎます。生徒会室で脱ぎます。

後輩のドスケベストリップ堪能してください。ああ、気持ちいい。

脱ぐ前から、なんでこんな気持ちいいの。そうだ、先輩が見てるから、いや、

先輩がいるからだ。先輩がいるだけで気持ちいいんだ。これが真実です。

真実はいつもひとつなんです。脱ぎますよ、いいですか、

おしっこ漏らしたらごめんなさい。うれションしちゃいそうに耐えてるんです。

脱ぎます、脱ぐ、脱ぐ、まずは上からです。私今日、ノーブラなの。

先輩におっぱいちゅーちゅーしていただこうかと思って、

ブラジャーをつけてこなかったのです。エロいですが、シコれますか？

ストリップ見ながらシコってください。ほら、ほら、なんでシコらないの。

そのズボンから先輩の逞しき神おちんぼを取り出して、シコってください。

オナニーをッ、ストリップ鑑賞オナニーを生徒会室で出来るんですよ。

それを先輩の、清き青春の一ページに刻んでいただきたい。脱ぎます！

ああッは……ボタンをひとつ外すだけで、

こんなに、こんなに気持ちいいなんて。

先輩のその、何が言いたいやらよく分からない顔、最高です。かっこいい。

かっこいいよお、先輩素敵い、もつと見せてください、その表情、かんばせ。

先輩の先輩による先輩のための私。しもべ優のドスケベボディ、

とくと堪能してください。ほら、見て、見て。あはん、うふん。はあ、はあ。

先輩のために、先輩に悦んでもらうために私、悩殺ドスケベストリップ、

エブリデイ練習してるんです。誰もいない教室、誰もいない生徒会室、

自室でも鏡の前で、こうして、こんな風に踊って、ほおら、腰ッ見てッ、

前後運動すごいでしょ？先輩にパコパコパコされるの想像して、うッ、

あ、振って、る、のッ♪ あッはッあ♪ はッ♪ はッ♪ はッ♪ 見て、

シコって、シコっていいんですよ、ねっ、先輩ッ、シコ許可出してるのにッ、

なんでシコらないんですかッ、ほら、ちんぼ出してッちんぼッちんぼッちんぼ、

ちんぽオッ！……先輩、どうして先輩はいつも、いつも……私を、

そのように蔑んだ目で。……そんなに私、女性としての魅力がありませんか？

う、う、そんな、私、わたし、それじゃ私、一体、

何のために生まれてきたのか、先輩に嫌われてしまったら、私は、私は、

もう、クソの掃き溜めよりも無価値な、例えるならば、そう、

押し入れの中のパンツに生えたキノコです。ははッ、私なんて、

先輩の立派なキノコにぞっこんの、パンツキノコみたいなもんなんですね。

ははは、死のう。ああ、先輩、今までありがとうごさいます……、

ッひや……！？せ、せんばい？な、え、あ、わ、わ、せ、せせせせせ、

先輩がッ私のッ手を握って、いるッ……！先輩ッ、手ッ、私ッ、私ッ、

。おオッ、お、あッイグッいくッいくぐぐッオオッ。おオオオオッ♪

う……はーッ……はーッ……。す、みません、私、取り乱しちゃって、あ、

そ、ですね。できれば、手、離して、……らいじょおぶ、です、はい、

はい、もう……死のうだなんて言いませんから。軽率でした。

す、すみませんでしたッ。

ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいッ。

ああ……？ゆ、許してくださいさるんですか、先輩、私を。こんな私を。

吐瀉物まみれの私の頭を、そつと、撫でてくださるのですか。ああああ。

ああ先輩、先輩、ああ、ああ、ああ……。

あの、私、明日から変わります、もつとちゃんとした女性になります。

もうなんかすごい変わります。だから、あの、お時間いただきますけど、

待っていてください。びつくりするくらい変わりますから、あの、あの、

しばらく休みますッ……お父様の権限で、欠席扱いにはさせませんけど。

なのでしばらくッ！ごきげんようッ！

でもーッ！先輩を産む夢は諦めてませんからねええッ！

♡私がママです

ハアッ……先輩、先輩、ハアッ……先輩、こんにちは……♪

一か月ぶりですね、ハアッ……相変わらず、かっこいい……ハアッ……♪

え……？ああ、先輩がこの時間、この個室で用を足すの、調べました。だから、

待ち伏せしました。ああ……驚いた顔もお、すつごく素敵ですね。

……ああ、この格好はですね。先輩、こういうの好きですもんね。

見てください。そうです、制服結んでるだけです。えへ、へへへ、

下あ、見て。もお、ダメなんです、先輩のこと考えるだけで、こんな、

泣いちゃうんですよ。とつても泣き虫なんです、私の……、

お、ま、ん、こ……♪足首まで涙が漏れ出ちゃうくらいに。

先輩、先輩、分かってるんです。この昼休みの直前、先輩は体育の授業。

やたらと発育の良いクラスメイトの肉体をッ、その目で、目で、目にッ！
焼きつけて、ここ、本校舎の離れのお手洗いで用を足すついでに、

……ッ……思い出しオナニーしてるの。

どうして。って、ずっと思ってた。私があんなにアプローチしてるのに、
なぜだか先輩は私でシコろうとしない。頑張って選んだエッチな下着も、
先輩が興奮すると思つて練習したポーズも、エロダンスもッ、
先輩を欲情させるには至らない。いったい私に足りないものは何か、
分かりました。

……シチュエーションです。

ここなら、誰も来ません。来たとしても誤魔化し得ます。だから先輩、
私をここで、好き放題に。

犯して。

白くてつやつやのおっぱい死ぬほど堪能して。ピンク色の乳首、
ちゅうちゅう吸って、噛みついて。乱暴に揉みしだいて。

処女まんこに生ちんぼ突っ込んで、ぐじゅぐじゅ肉便器みたいに扱って、
好きなタイミングで種付けキメてください。私の膣も子宮も、いいえ、
身体もここも、それが、いちばん幸せです。

先輩にモノみたいに扱われたいんです。

だって私は、先輩の……ママだから。

ママはね、ひとのママっていうのはね、子どもに何させてもいいの。

子どもの夢を叶えるのがママなの。男子の理想の女性像なの。

私はそう思ってます。甘やかしすぎるくらいがちょうどいい。

先輩、私、先輩のママになりたかった。でも、今までの私では力不足でした。

でもそれは、以前先輩と一緒にいた時のしもべ優なんです。

今の私は、ああ、もう……そうとしか思えないや。ねえ先輩、私、

先輩のママですよ？ 私、産んだ。もう先輩産んだ。だからここにいるんだ。

ああ、こんなに大きくなったんだね、こんなに健やかに育ったんだね。

でもでも、親として、子どもの成長記録をとるにはもちろん、
すっぽんぽんも確認しないと。ちゃんと身体は大人になれてるのかな。

ねえ、先輩、確認させてください。先輩の先輩も、ちゃんと育てますか。
ハアッ……ハアッ……ハアッ……ハアッ……♪ きっと、先輩はッ、いいや、確実に、
童、貞、ですよ。まだ誰のおまんこにも突っ込んだことのないおちんぼ、
ママが、童貞食べてあげるから。嬉しいでしょ。大丈夫全部ママに任せて。
ヒッ……イヒヒヒヒッ、先輩、ああ先輩、先輩、先輩、先輩。

先輩のッ、溜まりに溜まったものッ、吐き出してください。

今日のために私い、一か月オナニーしなかったんですよ。

毎日先輩をオカズに二回もするの、それを全部我慢したんですよ。

もお、頭、頭がおかしくなりそうなんです。おかしいのかもしれない。

犯して。犯させて。犯して。犯させて。おかしくさせて、完全に。

ああ……先輩……。私がママです、ああ……せえんばあい……♪

♪私がママなんです

まずは脱ぎ脱ぎしましよーね。

えへ、へへへ、あれ、あれ？ 先輩、おちんぼ萎えてる。なんで。

ああそつかあ、あまりに唐突な展開に身体がついていけてないんですね。

大丈夫です、私、先輩のペースに合わせますから。なんせママですから。

先輩ッ……♪ えへ、ぎゅうううっ……えへへへ……♪

好きッ好き、先輩好き、やっとなでかされた、ああ、私、

今までは手繋いだだけで絶頂してたけど、変わりました。成長しました。

子どもが成長すれば、親も等しく成長するんです。

でも、ハアッ……ハアッ……ふふ、先輩と触れ合うと欲情してしまうのは、

やっぱり変われませんでした。これだけは、私の性だと思ってください。

でも先輩？ ねえ先輩？ ……硬くなってるよ？

そうだよ、半裸のママに抱き着かれたら、反応しちゃうよね。

こんなエロい格好で迫られたら、セックスモード入っちゃうよね。大丈夫。

ママ、どんな事態にも対応できるからね、先輩は私に身を任せていいんだよ。
先輩の体温、どんどん高まっている。それに、すっかり大人しくなっちゃった。

興奮して、余裕なくなっちゃったの？　かわいいね。

ん、先輩、……ちゅう、したことがある？　……ないんだ。

……ママとする……？　いいよ、たくさんしよ。……んッ……ん。

ちゅッ……んむッ……ん、んくッ……ちゅ、ちゅッちゅ……ん。

……しちやつたね。先輩、ちゅう気持ち良い？　……気持ち良いんだ。

じゃ、もつとしようね。ほら、いいんだよ。……ん、ちゅっちゅ……ん。

ちゅるっ……んむむ、んう、ちゅッ……えお、えお……んく、むっ……んう、んッ……ん、ん……んふッ　んツく、ちゅるツン……ちゅう、ムう……はあむッ……れおッれる……んッんう……ん。

ぶはあ……、ハアッ……ハアッ……ん。

ちゅうちゅうしたら、おちんぼ君もつとおつきくなつてきちゃったね。

ママのお腹に当たってるよ？　ねえ、先つちよぬるぬるしてない？　ねえ。

ふふ。ママのちゅう、すつごくやらしいもんね。……だって、先輩のことお、えっちな気分になせようとしてるちゅうだもん。

ママのえっちな気持ち、唾液を通して先輩の中に入っちゃったんだね。

いいんだよお、もつともつとえっちな気持ちになつてほしいな。

あのね、先輩がどれだけえっちでも、変態さんでも、ひとに言えないような性癖を抱えていても、ママはそれを受け入れるよ？

ママ、ぜんぶ分かってあげちゃうから。だから、安心して。

……ふふ　ちゅッ　ん……？　もお　……ちゅッ

んふ、あまえんぼさん……　さっきまで身体強張ってたのに、なあんか、ゆるゆるになっちゃってますね。お顔も、ところどころになつてきてる。

もつととろけていいよ。とろけてほしい。私もとろけちゃうから、とろけてとろけて、ひとつになる。ね。……うん、ママうれしいよう。

おちんぼ君、そろそろ辛くなってきたんじゃない？

しーこしーこしないと、いたいたいしちゃうんじゃないのかな。

ママがしーこしーこ、したげようか　ねえ、したげるよ？

だって先輩、ひとりでできるもん！　なんて、強がっちゃいそうだし。

ママの前では、見栄を張らなくていいの。どんなに弱味を見せてもいい。

例えば先輩の……こ、こ……　ん　は、男の子の弱点だよ。いちばんの弱味、

ママに任せなさい　ほおら、ちゃんと立って？　ママ、重たい重たいだよ。

壁に背を掛けて、……そうそう、じょーず

じゃあママ、しーこしーこするからね。ちよつと待ってね、ママのおてて、

唾液でぬるぬるにしちゃうから。……エ、エオ……

……んふふ、見て、ぬるつぬる……　ん　今からこれで、しーこしーこするよ

上手なオナニー、覚えようね。ママのおててでオナニーしようね。

……んっ。わあ、すごい。先輩のおちんぼ君、あつうい……。ギンッギン……。

(手コキスタート・ゆっくり)

いひ　しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、最初はゆっくりゆっくりい、

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、うふふ、やらしい音しちゃうてるね？

とーつても恥ずかしい音お、お手洗いに響いちゃうてるね？

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、

ほら、この音はね、ママが先輩のおちんぼ君シゴいてる音だよ。

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、

先輩、エッチな格好してるママにおちんぼ君しこされちゃってるんだよ。

とつても興奮しちゃうね。こんなエッチなことできるなんて夢みたいだね。

ほおら、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ……　一緒に声出そう？

ほら、さんはい、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ

じょーずじょーず　さんはい、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ

あはは、とつても上手だね、ママ嬉しくなっちゃうよ。

んう？　ねえー、おちんぼ君、ママの唾液とはちがうぬるぬるしたのが、

先つちよからたくさんぴゅっぴゅしちゃうてるんですけどお。

さつきギュッギュしたときよりも、いっぱい出ちゃってる。

おちんぼきもちいきもちいしちやつたんだ？　ママのおててでオナニー、

えっちすぎてきもちいきもちいしちやつたんだ？

先輩って、とつてもやらしいんだね

ママはね、やらしいほうが好き　もつとやらしくなつていいよ

ほら、ほら、オナニー、ちよつと速くしちゃうからね。

しーこしーこ、しーこしーこ、しーこしーこ、しーこしーこ♪
しーこしーこ、しーこしーこ、しーこしーこ、しーこしーこ♪
あれれ？　ちよつと先輩？　おちんぼ君が勃起しちゃうのは分かるけど、
どーしてここまでカチカチになつてゐるのかな。ねえ、先輩って、
女の子なの？　女の子のおっぱいみたいな乳首、カチカチになつちやつてゐる。
乳首い、どうしちやつたのかなあ。さわつてえ、さわつてえ♪　って、
泣いちゃつてゐるね。泣いてゐる子には、いーこいーこしなきゃだ。そおれ、
いーこ、いーこ、いーこ、いーこ、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし、
ねえー、泣いてゐる子をなでなでよしよししてゐるのに、
あんあん喘ぐなんて、それにおちんぼ君もびくびく動いて、不謹慎だよ？
あ、不謹慎っていうのはねー、わるいこと、だよ。
わるいわるいこと。だからだめだよ。喘いじゃだめえ。
おちんぼ君びくびくさせちゃあ、だめえー。
乳首ちゃん、こわいこわいしちやつたね。よーしよし、なーでなで……、
……ねえ先輩？　ママのお話、ちゃんと聞いてましたかあ？
乳首ちゃんよしよししてゐるのに、なーんでまだえつちな声出してゐるの。
おちんぼ君も、天井向きつ放しだよ？
ママの言うこと聞けないの？　先輩は悪い子なのかな？　ねえー？
もお。そんな子には、お説教しなきゃいけないよ？
お説教っていうのは、ママぶんぶんしちゃうけど、
先輩をいい方向に連れていっちゃうことなの。いい子になれるんだよ。
お説教は、お口でするんだ。
まずは、おちんぼ君のほうをお説教しなきゃね。
……こら、おちんぼ君。だめじゃない、乳首ちゃんが泣いちゃつてゐるのに、
そーんなえつちいお汁いっぱい出しちゃあ……だ、め……♪
はああむッ♪
んっんぶっんじゆるッんんんッんうんんんッう♪　うぶッ♪
んくッううッ、ふッ、ふッ……！　んえおッおッ、うぶッ、んじゅッる♪
ん、はああッ……はああッ、はああッ、おちんぼ君ッ、ぜんッぜんまだッ、

反省、してないねッ、してないッしてないよこれはッ、はあムッ……、
んぐぐッむッ♪　えおッえおおッ♪　んううむッ、えおッくちゅッ♪
はむッむッうッおッ♪　んんぐッ♪　んむッむッ、えうッうッ♪　おッ♪
んぐッんぐッ、ふッ、ふッ、んじゆるるッ、んッじゅうううッ♪
ぢゅううううッ♪　んむウウおッ♪　はあッむッ、えおッおッおッ♪
んうぐッ♪　んッむッおおッ♪　おぼッお、んうッウ、おッんッう♪
ぶはッあ、はあーッ、はあーッ、先輩ッ、先輩のちんぽッちんぽッ、
ちんぽ啞えたッ啞えたですッ、幸せッ幸せッあ、幸せッ……♪
はッ……、う、ううん？　なんでもないよお？
おちんぼ君、だいぶ反省したねえ。いいこになれたみたい……♪
そうだよ、だって先輩のお友達はみんな、元々いいこだもん。
ちよつとやんちゃしちゃうことがあつてもお、みーんないいこ♪
ちゃんとお説教聴いてくれたからあ、ご褒美あげなきゃあ。
シコッシコッシコッシコッシコッシコッ♪　えへッあはッ♪
おちんぼ君ッ、もお限界らしいよ？　お口の中でびくびく震えて、
出したい出したい出したい出して、駄々こねてたもん。
白いおしっこだよ？　白いおしっこ、ぴゅううううってしたいんだよね？
ママ、おちんぼ君の気持ちよおおく分かるからッ♪　だからッ、ほら、
先輩ッ、いっぱい、いいいいっぱい、出してッ、先輩のことイかせられる、
私ッいやママッ、ママね、すっごい最高の。だから、出してッ、ママね、
出しちゃうところ、先輩が、先輩が射精しちゃうところ見てあげるッ♪
はあッ、はあッ、先輩ッ、イってほしいッイって、イってほしいッ、
白いおしっこ見せてッ♪　ねばねばの白いおしっこ♪　見せてッイって！
あああッ！　ああッあ、あー出てるッ、出た、いっぱい出てる、
白いの出したね、ママの言う通りにできたね、ママ、ちゃんと見てるよ。
先輩が白いおしっこぴゅっぴゅしてるところ、しっかり見てるから。
ほら、見てる。見てるよ。
だからもつと、もつと出して、いっぱいぴゅっぴゅしてえッ♪
ああ先輩、ああ先輩、ああ先輩いッ……♪　イっちゃったんだ……♪

ママのおてでオナニーして、イっちゃったんだあ……♪

うああすごい匂い、こんなやらしい匂いのおしっこ、便器じゃなくて、そこら中にまき散らしちゃって、もお♪ 先輩、えっちだぞ？

ああ、ママのおてに……たくさんついちゃったあ……。

んっ……じゅるッ、ちゅ……、もぐもぐ……、ごつくんッ……、う、あ……♪

先輩の、白い、おしっこ……ママの身体の中、入ってきた……あ……♪

おいしい……ママにおやつをくれるなんて、先輩はやさしいなあ♪

でもでもお、おいしいおいしいお夕飯が待ってるから、あんまり食べちゃダメ、だよ。我慢するね。……分かるかな……先輩……♪ うふふ♪

ああ先輩・私がママです・ああ先輩

……ねえ、まさかこれで終わりなわけないよね……？

ママね、欲しいの。もう一度、この白のおしっこが出るところを見たいの。

目に見えないところで、見たいんだ。ママの……中で……♪

ンッ……先輩、見える？

ここ、ここがママの、赤ちゃんのお部屋への入り口で、……出口でもあるの。

そう、膣だよ。

先輩はね、ここから産まれたの。覚えてないよね、仕方ないよ。

ちよつと覗いてみる……？ そしたら何か思い出すかも♪

……あ♪ あンっ♪ もお、目があイヤらしいよう。近いよおっ。

そんな、うあ、視線で犯されてるみたい……♪ はあッあ♪

熱い……息が当たってるからあッ……♪ うう、焦らさないでえ。

覗くならさ、ほら、おちんぼ君……おちんぼ君に探検させてみたらどうかな♪

ママの膣の中あ、探検ごっこしよ♪ 奥の奥まで、覗いてみていいから……♪

ほら、入りやすいように、両手で開けてあげるッ……、ううあ……あ♪

どお、かな。ちよつと狭いかもだけど、入ってこれそ……？

う、くあッああッ……あ、……いあ、だ、だいじよぶだよ、うん、

男の子の好奇心、は……抑えられないもんねっ。洞窟探検、楽しいもん、ね。

うああッ、あッ……はイッ、入って、き……て、る……。

ど、お？ 暗くて、よく分からないかにやつ……あ、んうッん……♪

か、壁も地面も、天井も、ぬるぬる、ねばねばかな……？ いひひ、

ごめんね、わ、わたし、ママ、ぬるぬるがとっても多くて、あはは♪

う、うッ、ううッあ、奥、キてる、うん、奥まできた、きたよ、届いてる、

ああ、あ、ぎもぢいッ……あ、じゃなくて、ああ、もつと、探索しよッ。

自、由に……動き回っていいですよおー♪ フリータイムでえす……♪

ああッ、あッあッ♪ ああ……ッ、ああ……ッ♪

ぐれッえ、すごッあ、あああッはッ、はッ、はッ、はッ……、うあッあ、

えッあ、ら、らいじよぶ、らいじよぶ、ですッ、好きにッシてくださッ、あ、

うオッお、おおッ、あッ、イギッあ、はーッ、はーッ、ふーッ、

ふーッ、ふーッ、ふーッ、……せんば、い、ちゅう、ちゅうして、いや、

ちゅうします。おちんぼ……くんのお説教はしたけど、先輩のお説教はまだ、

だから。……んッじゅッじゅううッちゅるッじゅッ♪ んじゅるるッ♪

えおッえおッえおッ♪ れろおッれろッんむあ♪ ンああア♪ んっく♪

んっくッあ♪ ぷはッ、しゅきい先輩しゅきいッしゅきいッだいしゅきッ♪

もつとしてえッ、んうーれおッんう♪ んうッうッうう♪ んううウッ♪

んぶッちゅッちゅッ♪ えおッおッ♪ んじゅるッちゅッ♪ ちゅッ♪

はうッ、ちゅッ、ちゅうう、れろおオ……♪ ぷはあッ……♪

あああッあッあッ♪ せん、ぱッ、い、たのしい？ ママの中ッあ、

探検ッするの、たのしい？ うんッ♪ ママもッお、とおおつても、

たのしいい♪ もつとしてッもつとしてほしいのッ、ママの中ッ、

動き回ってほしいのッ♪ そしたらもつと楽しくなるのおッ♪

はあーッ、はあーッ♪ お年頃なんだからあッ、やんちゃしていいよお♪

ああンッ♪ あッあ♪ あああんッ♪ ひッひあッあアッ♪

えへっ、いーっぱい走り回ってえッ♪ 落書きとかしてえッ♪

中あ、よだれとかまき散らしていいからあッ♪ ママはね、お歌をうたうよっ♪

とーっつてもお、えっちなお歌っ♪ がんばってうたうね♪

へたっぴだからあッ♪ うるさかったらごめんっねええッ♪ あああんッ♪

アアツアあツ♪
 おぼツ♪
 おぼツお、
 おぼおツ♪

……あーあーあーあ……。やっちゃったあ……。あははは……。

なんだろう、経験したことないレベルの賢者モードかな、これ……。何もかも……打ち明けたくなってきた……。

先輩。すみません、少し聞いてくださいますか。

私、……ご存知の通り、変なファンクラブあるし、クソ親父――

父親は理事長で、わがまま言いたい放題なのに、

ガチガチに縛られた窮屈な人生送ってます。

私、……どう見たって可愛くない。身体も平凡以下、取り柄なんて何もない。

所詮は権力に守られただけの成金、いわゆる高等御食食ってやつですね。

先輩、私ね、……スツツツごいド変態なんです。性癖が捻じ曲がって、

赤ちゃんプレイ、みたいなのをネットで知って、憧れてました。

性欲もですね、もう、狂ってるんじゃないかってくらい強くて、

誰にも打ち明けられない、ドロドロの泥みたいな願望を抱えてたんです。

実はさつきから……。ねえ、気づいてなかったでしょ？

私、この個室で先輩と対面してから、もう、200 回くらい絶頂してるんですよ。

最後の最後……先輩と一緒にイった時は、かつてないくらい……すごかった。

でもね本当に、先輩とお話して、触れ合って、それだけでイっちゃうんです。

嬉しすぎて、恋しすぎて、愛しすぎて、もう、身体が悦んじゃうの。

その体質を不幸とは思いません。むしろ幸せです。

とても気持ち良い絶頂なんです。

今日は、それを悟られまいと修行した一か月の成果が出ましたね、ははは。

……しもべ優が、こんなド変態なクソ痴女であることがバレたら、

きつと親に勘当食らって、家を追い出されてしまいます。

だからずっと隠してたんです。

かと言って、本当の私を知ってるのは私だけ。なんて悲しい、虚しい人生だろう、

かりそめに生きて、何が楽しいのかも分からなかったんです。

でも先輩、あなたは……私を、お嬢様という目で見なかった。

自覚ないでしょ。私が権力者の娘と承知で、ただの後輩として接してたんです。

驚くでしょうが、初めてだったんですよ、そんなこと。

誰も彼も、ごますりご機嫌どりで、ですわますわのお上品な顔ばかり。

そんな中、唯一先輩は……粗暴でした。とっても心地の良い粗暴でした。さらに驚くでしょうが、私、それでコロッと堕ちたんです。あなたにね。

ああ、このひとつには、全てをさらけ出しているのかもしれない、なんて考えて、

そして、日が経つごとに我慢できなくなってきました。先輩へのアプローチ、

ひとつとの距離感が分からない私には、歯止めなんてものはありませんでした。

あれが、本来の私です。ああやって、頭のおかしいことしてる時が、

いちばん生き活きるんです。たまにこんな賢者モードきますけど。

すっごい、気持ち良かったですよ。先輩には不快な思いさせてたかもですね。

結局このお話は、ひとと関わるのが下手で、ド変態な欲望を隠しきれない女の、

ドーーーしようもない……やらかし先生だったつーわけですよ。はははは。

はあ……消えたい……本当に……。ただひとりの大切なひとに……

大好きなひとに……私、とんでもないことしちゃったなあ……。

えっちしたくて仕方なかったのに、いざ実際にしたら、後悔しかないや。

先輩、ごめんなさい。

明日からはもう、先輩にも、しもべ優というお嬢様で接しますから。

もう、私のうざったい本音に付き合わせませんから。

だから先輩も今まで通り、その分け隔てない人柄で平和に生きてください。

……ごきげんよう……。さようなら、先輩。

…………。ふえ？ 先輩、今、なんて。

ま、ま、また、え、また、してくださるんですか、あんなことを……？

お、お、怒ってないんですか、だって、あんなことして、私、……。

ッ！！ え、え、今、ま、ま、ま、ママって、言いました……？

私を？ ママと？ 呼んでくださるのですか？

あッあ、ああ、あ……せんば、先輩、あああッ……。

ハアアアア先輩先輩先輩先輩せんばせんばいッそうですですすです

ああああああ私がママなんですああああああああせんばああああああ

あああああああッッッ……、……ありがとう、大好き……。

(終)